

早稲田大学 法学部 日本史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	昨年より易化した。法学部は、早稲田の中ではわりと「知識量」というか「語彙量」で解く問題が多い学部だが、今年は単純な問題が多かったため9割越えの受験者が続出したと思われる。もし8割を切るような得点だった場合は、学習法を根本から見直す必要があるだろう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代～中世の神祇 信仰	全問正解しかありえない易しい問題。	易
II	江戸時代前期の 政治・外交	問4のみが難問で、残りには早稲田定番の問題が多い。	やや易
III	明治時代のアジア 外交	全問正解しかありえない易しい問題。	易
IV	近現代の日米関係	問6 消去法で解く。問7 やや難しいが、深く考えれば正解できただろう。問11難しいが、最近では出題されるようになってきた用語。	標準

【難易度の表記について】

<易> 全問正解できる問題です

<やや易> 1問を除いて、残りは正解できる問題です

<標準> 2問を除いて、残りは正解できる問題です

という具合になっています。